

# 四万十市議会だより

No.70  
2022. 8. 1 発行



～もくじ～

- 議案 … 1ページ
- 一般質問 … 3ページ
- トピックス … 19ページ

# 令和4年6月定例会

四万十市議会6月定例会は、6月13日に開会し、6月28日までの16日間の会期で開催されました。本期の定例会には、「令和4年度補正予算」4件、「条例の制定・改正」3件、その他1件と諮詢3件、また議案提出議案1件、陳情2件、意見案1件、特別委員会の設置1件の議案が提出され、慎重に審議を行いました。

一般質問では、15名が「ごみ問題」、「障がい者支援」、「市長の政治姿勢」などについて質問を行いました。

議案番号	件名	結果
1	専決処分の承認を求ることについて (令和4年度四万十市一般会計補正予算(第1号))	全会一致承認
2	専決処分の承認を求ることについて (令和4年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定補正予算(第1号))	全会一致承認
3	令和4年度四万十市一般会計補正予算(第2号)について 令和4年度四万十市一般会計補正予算(第2号)についてに対する修正案	賛成多数可決 賛成少数否決
4	四万十市地球温暖化対策実行計画協議会設置条例	全会一致可決
5	四万十市立四万十農園あぐりっこ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
6	四万十市都市公園条例の一部を改正する条例	全会一致可決
7	令和4年度四万十市一般会計補正予算(第3号)について	賛成多数可決
8	教育委員会委員の任命について(龜谷 文裕 氏)	全会一致同意
諮詢1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求ることについて(竹田 元久 氏)	賛成多数同意
諮詢2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求ることについて(谷口 登志 氏)	賛成多数同意
諮詢3	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求ることについて(岡田 実智男 氏)	賛成多数同意

## ■議案提出議案

議案番号	件名	結果
1	四万十市議会会議規則の一部を改正する規則	全会一致可決

## ■陳情

委員会名	受理番号	件名	結果
教民	1	相撲場に関する要望書	全会一致採択
教民	2	相撲場に関する要望書	賛成多数採択

## ■意見案

番号	件名	結果
1	消費税率5%への引き下げを求める意見書 提出者 谷田 道子議員 ほか7名	賛成少数否決

## ■特別委員会の設置

議案番号	件名	結果
1	議会改革特別委員会	全会一致可決

## 議案の賛否の状況

	平野 正	宮崎 努	川村 一朗	上岡 正	山崎 司	谷田 道子	西尾 祐佐	大西 友亮	松浦 伸	川渕 誠司	上岡 真一	山下 幸子	廣瀬 正明	寺尾 真吾	前田 和哉	澤良宜 由美	川村 真生	鳥谷 恵生
第3号議案	議長	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
第3号議案修整案	議長	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	
第7号議案	議長	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	

# ここを質す!

## 一般質問

質問順位	質問者	質問要旨	質問掲載ページ
1	谷田 道子 (一問一答)	1 市長の政治姿勢 2 市民病院 3 高齢者への支援	3
2	川村 一朗 (一問一答)	1 水道行政 2 事業系一般廃棄物処理 3 市長の政治姿勢	4
3	澤良宜由美 (一問一答)	1 ごみ問題 2 放課後児童クラブ 3 低出生体重児の支援策	5
4	川村 真生 (一問一答)	1 子育て支援 2 公務員の在り方 3 市長の政治姿勢	6
5	寺尾 真吾 (一問一答)	1 四万十市立図書館郷土資料室 2 四万十市郷土博物館 3 川とともに生きるまち四万十市 4 市民のための行財政運営	7
6	山下 幸子 (一問一答)	1 障がい者支援 2 仕事場の拡大 3 災害時における情報伝達 4 鳥獣被害	8
7	大西 友亮 (一問一答)	1 市長の政治姿勢 2 新型コロナウイルス	9
8	前田 和哉 (一問一答)	1 南海トラフ地震臨時情報 2 水難防止対策 3 ヘリポートの整備 4 治水整備	10
9	鳥谷 恵生 (一問一答)	1 ウクライナ問題などによる原料高騰の対策 2 オーガニック給食	11
10	上岡 真一 (一問一答)	1 市長の政治姿勢 2 学校教育	12
11	松浦 伸 (一問一答)	1 幅広い分野での魅力発信を 2 若者が地域に残れる取組を 3 地域に活力を 4 農業政策	13
12	川渕 誠司 (一問一答)	1 (仮称) 京都看護大学四万十看護学部誘致 2 学校教育 3 南海地震対策	14
13	廣瀬 正明 (一括)	1 環境への取り組み 2 災害対策 3 道路整備	15
14	上岡 正 (一括)	1 大学誘致に伴う諸課題 2 市議選 3 赤鉄橋 4 日本一の教育市実現	16
15	西尾 祐佐 (一括)	1 市長の政治姿勢 2 林業振興による河川環境や災害への影響 3 子育て支援が必要な家庭	17

一般質問は 6月20日(月)から22日(水)の3日間行われました。

谷田 道子議員



# 物価高騰から暮らしを守る支援策について聞く 自衛隊への名簿提供について質す 市民病院の役割・ビジョンについて問う



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

## 物価高騰の支援策について

これとこれという形について、御答弁を控えさせてください。



質問 現在3歳以上の副食費は保護者負担だが、無償化を来年度から実施という事でよいか

答弁 副食費の無償化については、大変重要な課題。来年度から実施する方向で前向きに検討していく。

## 自衛隊への名簿提供について

答弁 提供後正面玄関にある掲示板に掲示している。

質問 大西議員へは「市が条例に違反して外部提供をした場合には、利用を停止することが出来る」と答弁としている。条例に違反しない限り提供できることになるが

答弁 名簿の提供を望まない方への対応については、市の関係条例等に規定がない。

質問 他の自治体では情報提供をホームページに公表して、提出をのぞまない人は名簿から外すという対応をしている。本市でも広く市民に公示し希望しない方は名簿から外すといった対応をすべきだと考えるがどうか

## 市民病院について

質問 市民の市民病院への期待は急性期医療です。救急搬送のときに近くの市民病院でお世話になりたいと市民は願っています。市長は、市民病院の今後どのように考えるのか聞く

質問 地方創生臨時交付金を活用しての支援策について市長の見解を聞く

答弁 支援策については慎重に判断した中でより効果的な対策を打つていきた

質問 一般市民への周知はどう

答弁 ④の審査会の公益上必要なものという答申によるのか

答弁 名簿の提供を望まないという御意見が多くあるれば他市の例も参考に事務の取扱いなど関係課と調整します。



市議会だより

川村  
一朗議員



## \*どの家庭にも衛生的で安全な飲料水の確保を! \*処理施設から遠隔地にある事業所の一般ゴミ処理への支援策を! \*戦争から市民の命と暮らしを守るために市長の姿勢を問う!



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

### 飲料水の確保を

質問 本市には水道事業が受けられず、飲料水に谷の水を利用している所がある。異常気象で谷が枯渇することも起きている。水道事業の基本的な役割は

答弁 公衆衛生の向上と生活環境の改善。公共福祉、利益増進から特定または個別的ではなく、不特定多数の需要に対応する。



質問 近年実施されている水道施設建設計工事での1戸当たりの平均経費は

答弁 蕨岡地区260万円、西土佐江川崎地区600万円、三ツ又地区460万円。現在実施分は受益者負担はない。

質問 3戸以上であれば県の補助事業の対象となるが1、2戸は

答弁 市町村が施工し、かつ給水施設、浄水装置等を市町村の施設台帳に記載する場合は対象となる。

質問 1、2戸の所が要望すれば取り扱つてもらえるのか

答弁 市の財政状況から国や県の補助金や起債がなければ事業化が困難。補助制度の活用を取り入れて事業化を考えたい。



### 事業所ゴミへの支援を

質問 事業所の一般ゴミの処理規定は

質問 日々、戦禍が報道される中、国内に「敵基地攻撃論」や「核共有論」が出てきている。「非核都市宣言」のしての見解は

答弁 事業活動に伴い、生じた廃棄物は収集処理運搬業者への依頼も含めて、自らの責任で、処理するとなつてはいる。

答弁 事業活動に伴い、生じた廃棄物は収集処理運搬業者への依頼も含めて、自らの責任で、処理するとなつてはいる。国民の命を守る手立ちは国会できちんと論議してほしい。市としては情報伝達体制等緊張感を立てるべきだ。

答弁 日本を取り巻く安全保障環境は厳しさを増している。国民の命を守る手立ちは国会できちんと論議してほしい。市としては情報伝達体制等緊張感を立てるべきだ。

質問 過疎化の中、零細事業所も経営維持に努力している。しかし、処理場から遠隔地にあるために処理に要する時間や経費が運営を圧迫している。近場に事業所用のゴミステーションの設置を

質問 事業者や収集運搬業者の意見等も聞きながら、法的な問題がないか調査し、効率的効果的な方法がないか検討したい。

質問 防衛費を5兆円アップの2倍化については

答弁 近隣各国の危険な動きから、予算を確保して防衛能力を強化していくことは重要。

質問 5兆円あれば本市でも課題の学校給食費の無料化や大学生等の学費無料化等ができる。今の市民の生活状況から、生活支援に回すのが良策では

答弁 自分の国は自分で守るために防衛能力の強化は必要。しかし、福祉や子育て支援を削るのでではなく、新たな税収を生み出すことが必要だ。

澤良宜由美議員



## ・高齢者ごみ出し支援について ・放課後児童クラブの支援と改善策について ・リトルベビーハンドブックについて



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

### ごみ問題について

質問 ごみ収集の問題及び取り組みは

答弁 収集方法が戸別収集の地区とステーション方式の地区に分かれおり市民によつてごみ処理にかかる労力に差がある。

市として可能な限りステーション方式に統一していく方向。

答弁 ごみ出しが困難な高齢者や障がい者に対し  
ての支援策。

答弁 ごみ出しが困難な高齢者で、自力でご  
み出しができず近隣や親族の協力が得られない方  
に協力して頂きごみ回収を行っていく。

質問 対象でない高齢者のごみ出し支援策は

答弁 地区の区長・民生委員等より相談があつた場合は、保健師が自宅を訪問し

### 放課後児童クラブについて

質問 本市の放課後児童クラブの課題は

答弁 市・放課後児童クラブ・保護者の間での迅速な連絡手段としてインターネットを利用した情報共

答弁 令和2年度より毎月行つていた委託料請求事務を



支援の必要性について確認を行う事としており、その必要性が認められた場合は、四十市助け合い戸別収集の対象として支援を行う事としている。

質問 放課後児童クラブ支援員の人材確保及び、人材支援を行つているか

答弁 人材確保については広報誌等で募集を行ない随時放課後児童クラブへ紹介を行つている。

答弁 待遇面での支援については、会計年度任用職員の給料表に準ずることとし、現給保障をした上で主任手当など責務に応じた市独自の手当を支給している。

質問 低出生体重児に対する支援について

答弁 高知県が本年度作成した母子健康手帳「リトルベビーハンドブック」の認識と必要性について

年3回に変更、又事業報告の様式も改善するなど事務の軽減に努めている。



質問 放課後児童クラブ支援員の事務負担が多いとの意見、改善策として事務の軽減や委託業務はできないか

答弁 小さく生まれてきた赤ちゃんに対して保護者の心理的負担に寄り添い生育発達の遅れや個人差を考慮した記録項目となる予定。

答弁 本年度作成されたら医療機関や市町村から配布される。本市としても活用を促す。

市議会だより

川村  
真生議員



# ○子育て支援策について ○新しい経済理論「MMT」

公立保育所の給食費無償化への取り組み

子育て世代の経済負担軽減への取り組み

質問 副食費無償化または完全無償化している高知県内の自治体数は

質問 貯金がない世代が増加し、子どもが欲しいが作れない、育てていけるか不安な家庭が多くいるが、現段階での対策は

答弁 副食費無償化をしている自治体数は29で、副食費無償化の自治体の内、主食費も含む完全無償化している自治体数は10である。

答弁 子育て世代の経済的負担の軽減策は必要と考えており、これまでの中学生までの医療費の無償化にも取り組んできた。今後は給食費用の無償化にも前向きに取り組んでいきたい。

質問 副食費無償化または完全無償化への四万十市の見解は

答弁 オムツなど購入費の補助や、市単独で出産祝い金（ケーキボンや現金）を配布し、更に経済負担を減らすべきと考えるが見解は

答弁 早期に取り組むべき重要課題として認識しており、実施に向け前向きな検討をしている。

答弁 例としてオムツなどを提供するサービスをするとなると、他市の事例で試算した場合、年間1千100万円ほどの予算が継続してかかる為、現時点では実施予定はない。限られたい。

質問 30年以上もデフレ不況が続く今の日本経済を打破すべく、少數派ながら現代貨幣理論が注目されたい。デフレ化では日本政府

工の認識 現代貨幣理論（MMT）

## 単身世帯の貯蓄額

	貯蓄額平均	中央値	貯蓄ゼロ率
20代	113万円	8万円	43.2%
30代	327万円	70万円	31.1%
40代	666万円	40万円	35.5%
50代	924万円	30万円	41.0%
60代	1305万円	300万円	29.4%

貯蓄が多くある人と全くない人の二極化

貯蓄額8万円では結婚できない

※令和2年家計の金融行動に関する世論調査より

答弁 多くの移住者が来ることで少子化対策にも繋がり、多くのメリットがあると考えている。住みやすい、子育てがしやすいまちと思つてもらえるように子育て支援策の推進をしていきたい。

答弁 この理論については政健全化とのバランスもう。市としては、国には財政健全化とのバランスも考慮しながら、経済の回復や原油価格や物価高騰への対応、なにより賃金の引上げにつながる迅速かつ充分な規模の施策の実施を望む。

答弁 た予算の中で、乳幼児から小中学生までの幅広い支援策を厳選し実施したい。また、将来的なメリットがあると考えるが見解はあります。

答弁 が財政出動をする事で、本市を含む財源に余裕がない地方に対し、豊かな財源をもたらす救世主になる可能性があると考えるが認識はあります。



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

寺尾 真吾議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

# 郷土の継承と本市独自の温暖化対策に向けて



**質問** 郷土資料の冊数は

**答弁** 郷土資料室は秋水ほか、郷土の偉人等の紹介を行つていくべきところ。また、提灯台やなかむら踊りなどの郷土の状況も関係者の協力を得ながら展示等に取り組みたい。

**答弁** 委託すれば展示の更新頻度や図書館との回遊性の向上など期待できる。ただ、資料展示では根拠の伴うものの作成が求めら

**質問** 庁舎建設時（2010年）から約13年間、同じ展示内容であることは課題。秋水のほかに様々な郷土人・郷土資料がある。それを子どもから大人まで多くの市民に見てもらい、町への誇りと愛着を持てる資料室にしてほしい

**質問** 資料室と博物館の連携を図り、博物館にもつと足を運んでもらう仕組みも考えよう。資料室の管理を指定管理者に任せ、一元化による効率的な運用が良いのでは

**答弁** 人員配置は毎年度、所長にヒアリングを実施。その上で、学芸員については教育委員会と十分な協議をし、検討していく。

**答弁** 計画を策定し、協議・分析をする中で本市の特性と今後目指す指針がより顕著になる。環境特性を活かし、温室効果ガス削減に効果的な独自の施策も考えたい。

**質問** まちの郷土を理解した学芸員になるには、地域を学び10年は引継ぎに時間を有するとの話もある。1名体制は課題ではないか

**質問** しつかりとした土台づくりの次に、それを活かす展開が大切。環境問題の解決を実証していく場所、環境から経済循環を生むなどの本市独自策は

**答弁** 庁舎建設時から幸徳秋水を中心とした展示室活用。管理は生涯学習課だが、平成28年度に指定管理者制度を導入してから日常的な見回り、備品管理はお願いしている。

**答弁** 図書館はR3で9万7732名、博物館は4765名。



**質問** 郷土資料室の内容と管理体制は

**答弁** 図書は1万5055冊、ほか写真等で1600点。

**質問** 図書館と市立郷土博物館の年間入館者数は

**質問** 計画の具体的な内容は示せるか

れ、その作業は地道な調査の繰り返しである。そのため、生涯学習課で調査し、日途が立った時点で管理体制の見直しを図ります。

## 学芸員職員の体制見直し

**質問** 一般職で学芸員資格を求めて採用した職員数は

**答弁** 計画では温室効果ガスの排出量の推計や排出要因分析を行う。どのようにことを行えばCO<sub>2</sub>削減となるか検討し、総量削減目標等を設定し2050年カーボンゼロとするための土台づくりとする。

## 地球温暖化対策実行計画区域施策編の展開



## つながり、支え合える四万十市について!! 子どもや大人の発達障害について 若者や定年退職者が働く仕事場の拡大 鳥獣被害対策について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

### 発達障害について

**質問** 近年多くなっている子供や大人の発達障害への取り組みとして、発達障害への正しい認識と理解の啓発活動として、発達障害に関する情報をまとめたパンフレットを医療関係や、社会福祉センター、市役所等に設置して啓発活動を行っているが、現在市役所内のパンフレットが在庫切れと聞いている。今後の啓発活動の取り組みについては

**答弁** 発達障害に対する理解への啓発活動については、まず発達障害について知つてもらい、温かく、周囲や地域から見守ることができるように、理解・啓発を進めしていくことが非常に重要であると考えている。パンフレットは病院施設など61ヶ所に配布して、待合室などでの待ち時間に目を通しやすい場所に設置をしていただいている。啓発パンフレットは今年度引き続き、作成するよう検討していきます。

**質問** 大人の発達障害について、本人はもとより家族も障害と気付かないで大人になり社会生活の中で問題やトラブルを抱えながら生活をしている方の相談窓口は何処にあるのか

**答弁** 相談窓口については、障害者総合支援事業として本人や家族からの相談に応じ、情報提供や助言を行ったため市内の2事業所、市外の1事業所に委託事業により相談員を配置して相談を受け付けています。

**質問** 少子高齢化が進む中で、若者の流出の歯止めがかからない現状となつている。若者の地域定着のための働く場の拡大について



四万十市福祉事務所 ☎0880-34-1120

### 仕事場の拡大について

**質問** 令和元年度にインター ネット関連企業の市内進出により、若者が市外に出なくとも、都會と同じような企業につくことができるようになってきているが、本市の雇用に係る課題解決のためにも、県と連携のもと若者に対する就労支援等にも努めて参ります。

**質問** 退職された60歳以上の方の働く場の拡大について

**答弁** 市では一般社団法人四万十市シルバーリンカーンターに助成を行っている。今年度から、介護職員初任者研修事業に取り組むこととしており、訪問介護員や通所・施設系の介護職員として従事出来る資格



(一社)大日本猟友会のポスターより

### 鳥獣被害について

**質問** 猿による被害対策の取り組みは

**答弁** 昨年度から、県が行うサル被害対策モデル事業のモデル地域として認定を受けている西土佐藤ノ川地区で、生息調査や地域の勉強会、捕獲檻の設置等、総合的な対策について実証実験を行っているところです。

が取得できる。受講者については、高校生に相当する年齢以上の方で、60歳以上の方も対象となつております。

大西 友亮議員



# 市長の政治姿勢について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

## 大学誘致について

質問 5月27日に行われた大学側の説明会について

市長の感想はどうか。  
また今後四十市全体または幡多地区全体の説明会等は予定していないのか

答弁 大学が来て初めての説明会と云うこともあり、大学を拠点とした防災機能や地域コミュニティ等設置後に大きな関わりのある下田地区を対象に説明会を行つた。

ただ開会から話を遮る発言や、学校法人の説明へのヤジ等が起ころなど大変残念に思つてゐる。

今後幡多地区全体への説明会を開催する予定はないが、色々な会合等でリーフレット等を持つていきながら話をしていくきたい。

質問 説明会を終えての大學生側の感想は

答弁 大学の内容を十分に伝えられなかつた事に非常に残念に思われていた。

質問 説明会をするにあつて市民から質問等を集められたと思う。また会場でも市民から質問や要望等多くの意見が寄せられたと思うが、今後この出された意見等にどの様に応えていくのか

答弁 事前に出された質問また当日出された質問併せて、今後回答については大学と整理して、市のホームページで公開する予定としている。

質問 大学誘致ありきで下田中が統合された事に疑惑のある住民から質問や要望を出された事に、理事長から『反対がここまでとは想像してなかつた』と言はれたようだが、私は当初から住民等から反発が強くあつた様に思う。この事は大学側には伝わつてはなかつたのか伺う

答弁 大学側には、下田中学校の再編や防災面を心配する一部の住民から反対の声があつた事等の情報

質問 説明会の中で市長から『強引なやり方があつたかもしれない』と強引なやり方をした事を認めた発言があつたようだが、住民にしつかりと説明や理解を求めていくことはないのか

答弁 中学校の再編については、まだ理解をしていてだいていない段階で、大学誘致の話を打ち出したことについては若干、強引なやり方があつた様には思

は、その都度知らせていた。ただ説明会当日の事態については想定外だつたようだ。

うが、教育委員会も含め幾度となく説明をし、私に委ねるという事であつたため進めさせてもらつた。

## コロナウイルスについて

質問 本市でも宿泊療養施設の開設を県に要請してほしい

答弁 幡多地域に2カ所の宿泊療養施設があり、本市にも市民病院としては、協力すると伝えているが、その後県からアプローチがない。県としては整備計画は未定とのこと。





↑一般質問の動画はこちらで見られます。



# 安全・安心な四万十市に

## 南海トラフ臨時情報に伴う本市の防災対応方針

該当し、いざという時、支援がスムーズに行われるよう取り組んでいる。

**質問** 対象地域、対象者数、避難体制、避難期間を問う

**答弁** 「警戒」では平野、双海、井沢団地を除く下田地区と八束地区で、約300人を対象に避難指示を発令し、高台の避難所に1週間の避難を呼びかける。

「注意」の場合は、市内全域を対象に1週間の自主避難を呼びかける。

**質問** 避難行動要支援者の個別避難計画と津波浸水想定地区の該当者数を問う

**答弁** 要介護認定3～5級の方や身体障害者手帳1、2級の第1種を所持している方などに、避難の必要が迫った際、1人ひとりの情報を要支援者ごと個別に作成しており、区長や自治防災会、関係機関で共有している。

また下田、八束地区の想定地区においては、82人が



四万十川 勝間沈下橋下流

## 水難防止対策について

**質問** アフターコロナを見据え、観光客増加が見込まれる中、今年の対策は考えているか

**答弁** これまで同様、看板の設置、パンフレット等で注意喚起をするとともに、6月9日には四万十消防署、四万十川観光遊覧船連絡協議会、四万十リバーアクティビティ連絡協議会が連携し、四万十川での水難救助訓練を実施した。

**質問** 災害時の孤立化が懸念される中、中山間地域の迅速な救急救命、さらには物資輸送の拠点として活用する整備方針は考えていないか

**答弁** 17の消防団、分団ごとに整備しているもので、東富山、大宮、藤ノ川、八束、奥屋内、西富山、大川筋、計7カ所に整備している。

令和4年度は、西土佐地域の江川地区に整備することとし、当初予算に測りリスク低減になるなどの効果が期待されている。

## ヘリポートの整備について

**質問** 相ノ沢川総合内水対策に付随するマスプロダクツ型排水ポンプとは

**答弁** 試験的な設置事業として、全国で6カ所が選定され、四国では唯一本市のみが決定した。

## 治水整備について



防災ヘリコプターおとめ

**質問** 勝間沈下橋へ監視員を配置するべきではないか

**答弁** 遊泳等、自由使用の中、観光客は四万十川の様々な場所で楽しんでいるのを見受ける。

量設計費を計上、現地確認を行い、令和5年度の工事着手に向け準備を進めている。

鳥谷 恵生議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

# ウクライナ問題・円安による輸入物価高騰対策 原料・資材の国産化を進め安定価格・供給する仕組みを構築 事業者を守り・持続的に発展する四万十市へ



## 小麦価格の上昇について

麺・スイーツなど多様なものに利用できると把握している。

質問 ウクライナ問題や円安により輸入品への高騰を招いている。日本は小麦の9割を輸入に頼つているため、事業者への影響も大きい。

答弁 代替品として地元で米粉の製造と供給ができる仕組み作りをしてはどうか?

米粉を活用し商品開発をしていくのは非常に伸び代がある分野。製粉所の件も国等からの情報収集を行い、各課と前向きに検討を進めていきたい。

質問 地元の米粉を活用した特産品を開発しあ土産屋・ふるさと納税などで観光PRしてはどうか?



米粉のケーキ



米粉の唐揚げ

## 肥料の高騰や品薄対策について

オーガニック給食と移住政策の連動について

質問 四万十市産の堆肥の利用量はどれくらいか?

答弁 堆肥の生産量は、2193t、利用量も同数の2193tとなっている。

質問 より安定供給するために年間3600t焼却処分され処理費に4500万円かかるといいる高知競馬場の馬糞を活用してはどうか?

答弁 馬糞については高知県及び高知市との協議が必要だが農水省の発表したみどりの食料システム戦略でも、化学肥料使用の低減や有機農業の推進も提言されていることから、堆肥の安定供給に関しては情報を集め推進していく。

質問 子どもに安全なものを食べさせたいという需要が高まりオーガニック給食への注目が集まっている。本市も20年前から取り組んでいる地元産の無農薬・減農薬米や野菜の取組みを積極的に発信し移住に繋げたらどうか?

答弁 本市は国が定める有機JAS認証ではなく、市の独自基準による認証制度のためオーガニック給食といふのは言えないかもしれないが、無農薬・減農薬の農産物を使用することで、安心安全な学校給食の提供につながり、保護者からも好評を頂いているので継続して取組みたい。

WEBサイト上では本市の給食の取組みを掲載しているが、県最大の移住相談会である高知暮らしフェアでも移住支援制度や、本市の給食の取組みも発信していく。



# 市長の政治姿勢(具同側緑地の環境)(議会改革) 学校教育(声かけ、あいさつ運動)(小学校の熱中症対策)



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

**質問** 議会－ICT化、ペーパーレス化をして、タブレット議会を、執行部とともに、業務の効率化や働き方改革の観点から、議会とともに、

**質問** 声かけ、挨拶運動を進めしていくことにより、人間関係豊かな、明るく、安全で住みよい地域社会づくりを目指すことができると思う。大人も子供も互いに声をかける声かけ、挨拶運動を本市は、推進して欲しい。特に、学校教育活動の中で、声かけ、挨拶運動を徹底して頂きたい

## 議会－ICT化について



**質問** 水筒の中身を飲みほして無くなつた場合には、どのように補給しているのか



**質問** 現在の水筒持参率は100%とまではいかないが、9割以上、100%に近い児童が持参していると聞いている。

## 声かけ、あいさつ運動について

**質問** 川まちづくり計画に位置づけ、トイレの改善をもとより、他の周辺施設についても、整備を図るよう、準備を進めている。

## 具同側緑地にトイレの設置について

**質問** 橋北側のキャンプ場に1台、移動式のトイレがあるので、新たにトイレの設置をお願いしたい

## 具同側緑地にトイレの設置について

も、導入に向けた取組をするつもりはあるのか、それとも、全く検討の余地もないのか

**質問** 議会と執行部が同時に導入する自治体が増えてきていて、執行部として、より大きな導入効果を生み出すためにも、議会、執行部における同時導入が理想的だと考え、議会事務局を含めた関係課で、情報共有を行いながら、検討を進めていきたい。

**質問** 教育委員会としても、挨拶のできる児童生徒の育成を校長会と連携して取り組んでいる。先日は地域の方からも、子供の挨拶がよくできるというお褒めの言葉を頂いた。これからより一層、挨拶を各学校で広げていきたい。

**質問** 足りなくなつた場合は、水道水で補給していると伺っている。

## 小学校の熱中症対策について

**質問** 小学校での熱中症対策で小学生の水筒持参率は何%くらいか

**質問** 各学校での必要性に応じて、設置することは可能と考えている。改めて校長会等の機会をとらえて、熱中症対策の一つとして、購入設置の検討も呼びかける。

**質問** 冷水器の必要性については、令和元年6月定例会で一般質問をした。なぜなら、水筒を持参していない子供は水道水を飲んでいると思う。未設置校へ設置したのか

**質問** 声かけ、挨拶運動を進めていくことにより、人間関係豊かな、明るく、安全で住みよい地域社会づくりを目指すことができると思う。大人も子供も互いに声をかける声かけ、挨拶運動を本市は、推進して欲しい。特に、学校教育活動の中で、声かけ、挨拶運動を徹底して頂きたい

# 幅広い分野での魅力発信を 若者が地域に残れる取組を 地域に活力を 農業施策



松浦 伸 議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

## 四十市観光大使について

## 本市職員の地元採用枠創設について



### 市長杯開催について



**質問** 現在の観光大使は23名。本年、新たに2名委嘱とのことだがどういった方か

**答弁** 本市にゆかりのある元スポーツ選手の方とクリエイターの方、2名の新規委嘱を検討している。

**質問** 市内中学生の半数近くが市外高校へと進学している。といつた声もある。市内高校への進学率を上げるために、本市職員の地元の高校に進学しない若者は地域に残らないといふ。といつた声もある。市内高校への進学率を上げるため、本市職員の地元高校採用枠創設を考えないか

**質問** 本市は『川とともに生きるまち』を謳っている。もつと川に携わる事業、イベントを開催するべきと考える。

**答弁** 本年より、県も鮎の振興に力を入れると聞いていますが、四十川鮎友釣り大会を四十市長杯として開催してはどうか

**質問** 自分の知人にも本市にゆかりのある漫画家や、本市出身の大学野球部監督がいる。本市の情報発信、魅力発信に尽力していただけると思うがどうか

**答弁** 観光大使の委嘱については、各団体からの推薦、本人の同意をいただき四十市を応援していきたいと、いつた熱い思いを持つておられ、積極的に情報発信やPR活動を行つていただけを検討したい。

**質問** 県では『あゆ王国高知振興ビジョン』が策定され、県内でも様々な地域で鮎の振興に関する取組がなされていくと考へる。提案の鮎友釣り大会や、利き鮎大会等を開催することにより、今以上に川に関心を持つ方が増え、地域の活力にもつながると思う。関係機関と調整しながら進めていきたい。

**質問** 本市は『川とともに生きるまち』を謳っている。もつと川に携わる事業、イベントを開催するべきと考える。

**質問** 原油価格の高騰や肥料等の資材高騰により、農家は悲鳴を上げている。本市独自の支援策が必要と考えるが

**答弁** 本市農家にも大きな影響が出ている。現時点では、県の支援策がない。肥料価格の高騰対策を考えており、令和4年の肥料購入費用に対する支援を検討している。



## 物価上昇、資材高騰への対策を

市議会だより

川渕 誠司議員



## ☆大学誘致の総事業費負担は ☆下田中学校・小学校に一貫校のような良さが! ☆津波浸水区域の保育所・小中学校の移転計画は



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

### 大学誘致について

質問 大学誘致の総事業費はいくらか

答弁 17億4千万円である。

質問 ①「下田中学校を下田小学校へ移転したことに伴う下田小学校一部改修事業」、②「下田中学校プール解体事業」、③「下田地区防災コミュニティセンターの建設事業」は総事業費に含まれるのか

答弁 含まれない。

質問 旧下田中学校への大学誘致ということでなければ必要なかた、先に示した3つの事業の経費はいくらか

答弁 ①は約490万円、②は819万5千円、③は設計管理費と建設工事費で約8150万円である。

質問 市の負担10億円の財源は

答弁 ふるさと応援寄付金を活用する。内訳は「ふるさとの人を守り育む事業」と「市長が必要と認める事業」である。

### 学校教育について

質問 下田中学校は、生徒や教職員にとって良い環境になっているか

答弁 人口減の中、将来に向適に生活できる場になつてているのではないか。教員配置では、美術と技術家庭は免許外教員が臨時免許で対応している。理科と体育は下田中学校への配置はなく、他の学校の教員が指導に来ている。養護教諭と事務職員は小・中学校の兼務発令。用務員は市の予算で臨時職員を配置している。

質問 下田中学校生徒の学校生活の様子は

答弁 落ち着いた生活が送られている。生徒から小学生や地域のためにできることをやろうと声が上がり、小学生への読み聞かせや交通指導を行ったり、昼休みと一緒に遊ぶ姿も見られ

### 大学誘致について

質問 市長は、「高齢者子ども等を守り育む事業」に使つてほしいと寄付されたお金を大学誘致に使うことに、ためらいはないのか。

答弁 施設・設備の面では快適に生活できる場になつているのではないか。教員配置では、美術と技術家庭は免許外教員が臨時免許で対応している。理科と体育は下田中学校への配置はなく、他の学校の教員が指導に来ている。養護教諭と事務職員は小・中学校の兼務発令。用務員は市の予算で臨時職員を配置している。

### 南海地震対策について

質問 近隣市町村はここ数年積極的に保育所や学校の高台移転を進めている。本市は中平市長になつてから全然進んでいないが、市長の見解は

答弁 1ヵ所1ヵ所を高台に移転するには現実的ではない。将来構想も踏まえた中で今後の検討課題であると考える。



る。部活動では希望する学生が一緒に活動する姿がみられる。

廣瀬 正明議員



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

# 環境問題を積極的に取り組む四万十市に



## 皆伐後の森林について

## 多様な森づくりについて

## ごみの減量について

**質問** 市内には皆伐された森が多く見られるようになつた。災害の危険性の増加・土砂の河川への流出など問題がある。

**答弁** 森林の大規模な皆伐を行ふため取り組むべきではないか?

**質問** 市として、民間の手本となるような森林整備に取り組んで行きたい。

**質問** 水生植物が豊富な川への取り組みについて

**質問** 四万十川の水は年々濁りを増し苔も生えず、岩石の投入が必要と考えている。県は、広見川への岩石投入を検討中だが適切とは考えられない。市としての考えは?

## 消火栓の整備について



## 市道城北霊園線の整備について

**質問** 生活用水確保支援事業による新たな水道設備の整備が進められている。消火に利用できる時間は短いが初期消火の重要性を考え消火栓を設置すべきでないか?

**答弁** 市の責務であり待避所間で見通しの悪い所は樹木伐採、その後、場合によつてはカーブミラー等を設置する。

**質問** 家庭ごみ収集計画表への分別方法の掲載、ごみの分別・出し方について広報で啓発を行つてている。衣替えの時期に古布のリサイクルを促す等、季節に合わせた広報を行つていく。

## トイレトレーラーの購入について

**質問** 導入事例等を参考に、今後諸課題を精査する。

**質問** 防災意識の向上と、市区町村の連携強化のため購入を検討すべきではないか?

**質問** 市民の協力を得てリサイクルの取り組みを更に進めると、お中元・お歳暮の時期には空き箱・包装紙、衣替えの時期には布類の強調月間のような取り組みが必要ではないか?

**答弁** 生活用水確保支援事業での水道設備は消火栓の設置を想定しておらず過去に設置した事例は無い。現状では、タンク車・ポンプ車の積載水などで対応している。



# 大学誘致に伴う諸課題について 赤鉄橋架け替えについて



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

## 誘致大学

**質問** 今朝ほどの川渕議員の答弁で、実習先は確保出来たと言う事ですが、実習場所を答弁していなかつた。なぜ、実習場所を公表しないのか。大学が言わないでくれと言っているから公表しないのか



**答弁** 大学が言わないでくれと言っているから言わないと言うのはおかしいと言う事でしたけれども、理由と致しましては、文部科学省への学部設置届出前という事。また、実習施設との信頼関係もあるから、現時点では、詳細の公示は控えたいという事です。その事を曲げて、私の方からご説明する事は、

出来ないのでないかなと言うふうに考えております。

**質問** 有岡の看護学院が3年後に閉校になるが、後の振興策について市長はどういうに考えているかお聞きします

**答弁** 3年後に専門学校は閉鎖となります。その後は、理事長としては活用策を考えています。まだ、大学の開学もしておりますが、申込し、具体的にどういう形で開校をするのかと言う事につきましては、私の口からは不透明なことは申しませんけれども、例えば中医学研究所みたいな感じで、十何年も使わないといふいう形で活用するか、はつきりした話があり次第、どういいます。今後、どういふいうなことにはならぬと思います。議会にはご報告をし、アドバイスを頂きたいと思います。

## 過去の委員会の説明で

**質問** 過去の委員会の説明でも、定例会の質問でも、何回も答弁が参りました。市では明確に答えない。10億円以上になるかも知れないと言う答弁がありました。市長、10億円以内という約束を守ってください。ご答弁お願いします

**答弁** 今の物価高の高騰等々を考えた時に、厳しいもののがございますが、ただそれは、無尽蔵に幾らでも増やす事ではあります。そのためは、無尽蔵に幾らでも増やす事では是非ご理解を賜りたいと思います。

## 百年に向けて

**質問** 赤鉄橋は出来てから96年になります。架け替えが必要と思われるが、県の動き、市の取組をお聞きします

**答弁** 様々な課題がありますので、令和元年度より、高知県・四万十市で連携のもと、勉強会を発足しております。課題の取組を開始しておられます。その中で桥梁の架け替えにつきましては、河川管理者である国土交通省とも本年より勉強会に入つて頂くよう、要請し既に承諾頂いているとのことでございます。



西尾 祐佐 議員



# 新型コロナ感染拡大の影響、対応・対策について 林業による河川環境や災害への影響について 子育て支援が必要な家庭について



↑一般質問の動画はこちらで見られます。

## 新型コロナ感染拡大の影響、対応・対策について

質問 小児ワクチン接種について  
答弁 小児ワクチン接種について、私は慎重に判断すべきと考えるが、市長の見解を問う

質問 この実数を元に、今後の業務改善について問う  
答弁 業務の無駄を省き、時間を上手に使って生産性を高めていく。

質問 山や田畠の多面的機能を発揮していくためにも、できることから進めていくべきだ  
答弁 関係する各種団体等の見解も伺う。

質問 小児接種について、公的な情報発信をもつとしてはどうか  
答弁 努力義務からも除外されており、本人の健康状態や家庭環境等に応じた検討をし、納得された上で接種が大切だと考える。

質問 河川環境や災害についての根本的な解決を図っていくため、モデル的に四十川の支流で林業による影響等についての調査研究をすべきと考えるがどうか  
答弁 市でも細かな森林データを持ってるので、まずはこれら的情報整理等を取り組む。

## 林業による河川環境や災害への影響について



## 子育て支援が必要な家庭について

質問 新型コロナ確認後の出張件数や時間外勤務について問う  
答弁 積極的な情報発信も必要と考え、できることから取り組んでいきたい。

質問 集落支援員や地域行政アドバイザー制度を活用することで前進させてはどうか  
答弁 市でも細かな森林データを持ってるので、まずはこれら的情報整理等を取り組む。

質問 今年度設置する、子どもも家庭総合支援拠点はどうに進めていくのか  
答弁 アプローチが必要な家庭への支援を強化する。専門的知識が必要と考えるので、人材等の課題もあり、できる事から進めていく。

質問 様々なアプローチを検討していくことで、横断的な取組がより必要になる。これについての考え方を問う  
答弁 国の動きも踏まえ、民間や支援機関の役割を含めた全体として、機能強化を検討していく。

質問 潜在的に支援を必要とする家庭についてはどうか  
答弁 外部からの介入になり、難しさもあるが、粘り強い取組みと御家庭との信頼関係の構築が重要と考えている。家庭状況の把握は、現在構想中の重層的な支援体制整備の関係機関のネットワークでも行つていく。

質問 支援が必要な家庭では、現状で日々の生活に悩まれている。早急な対応が必要と考えるがどうか  
答弁 引き続き家庭児童相談室での支援を行つていく。

## 6月定例会に提出された陳情

6月定例会では「相撲場に関する要望書」がそれぞれ2名の陳情者から提出されました。陳情受理番号第1号は全会一致採択、陳情受理番号第2号は「採択」、「一部採択」での起立採択となりました

受理番号	件 名	陳情者	要旨	結果
1	相撲場に関する要望書	四十市具同5493-1 (公財)四十市 スポーツ協会 会長 土森 正典	安並相撲場への東山小学校仮校舎建設に伴い、市内唯一の相撲場がなくなる恐れがある。少人数ではあるが、相撲競技をしたいという子供たちのため、また、青少年健全育成の観点からも、相撲競技のできる環境や相撲大会が開催可能な施設の整備を要望するもの。	全会一致採択
2	相撲場に関する要望書	高知県相撲連盟 四十支部 会長 中山 弘智	安並相撲場への東山小学校仮校舎建設に伴い、市内唯一の相撲場がなくなる恐れがある。少人数ではあるが、相撲競技をしたいという子供たちが、日々相撲の練習に取り組める環境や相撲大会が開催可能な施設に、控室の要素(着替え・トイレ・用具保管)を加えた整備を要望するもの。	賛成多数採択

### 陳情第2号の賛否の状況

	平野正	宮崎努	川村一朗	上岡正	山崎司	谷田道子	西尾祐佐	大西友亮	松浦伸	川渕誠司	上岡真一	山下幸子	廣瀬正明	寺尾真吾	前田和哉	澤良宜由美	川村真生	鳥谷恵生
採択	議長	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	
一部採択	議長	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	

## 6月定例会に提出された意見書

### 消費税率5%への引き下げを求める意見書

(谷田道子議員他7名 賛成少数否決)

	平野正	宮崎努	川村一朗	上岡正	山崎司	谷田道子	西尾祐佐	大西友亮	松浦伸	川渕誠司	上岡真一	山下幸子	廣瀬正明	寺尾真吾	前田和哉	澤良宜由美	川村真生	鳥谷恵生
意見書1	議長	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	

## 議会改革特別委員会を設置しました

更なる議会機能の強化を図るために、議会ICT※<sup>1</sup>化、及び議会BCP※<sup>2</sup>の議会改革に関する調査、検討に特化した議会改革特別委員会を設置しました。

### 議会改革特別委員会(9名)

委員長 西尾 祐佐  
副委員長 寺尾 真吾  
委員 大西 友亮 松浦 伸 川渕 誠司 山下 幸子  
廣瀬 正明 前田 和哉 川村 真生

※1 ICT = 情報通信技術      ※2 BCP = 災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画

## 市議会議長会からの表彰

### 【全国市議会議長会】

議員在職25年以上特別表彰

宮本幸輝 前議員

### 【四国市議会議長会】

議員在職16年以上特別表彰

宮崎 努 議員

議員在職12年以上特別表彰

平野 正 議員

議員在職8年以上一般表彰

上岡 正 議員

山崎 司 議員

谷田道子 議員

西尾祐佐 議員

大西友亮 議員

垣内孝文 前議員



## 編集後記

6月定例会が13日に開会、28日閉会となりました。

この4月には、改選があり市議会も新たに発足しました。一般質問も15名の質問があり、新人議員も全員質問するなど、今議会も活発な議論が行われていました。

また、たくさんの方に傍聴していただきありがとうございました。

市議会では、新たに議会改革特別委員会が発足する事になり、今後議会のICT化を図る為に協議をしていきます。

いよいよ夏本番、今年も猛暑が予想されますので、体調には十分気をつけてください。

### 広報広聴委員会

" " " " " 委員 員長長 鳥澤前上川宮大寺 谷良田岡村崎西尾 宜 恵由和真一 友真 生美哉一朗努亮吾	委副委 員 員長長 鳥澤前上川宮大寺 谷良田岡村崎西尾 宜 恵由和真一 友真 生美哉一朗努亮吾
--	--

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827  
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

**次回定例会は9月5日からの予定です。ぜひ傍聴にお越し下さい。**

（西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます）

※議会会議録は議会専用ホームページ (<http://city.shimanto.gsl-service.net/>) で閲覧できます。

※令和4年6月定例会会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は9月中旬の予定です。

#### [市議会のホームページは…]

URL:<http://city.shimanto.gsl-service.net/>

#### [You Tubeによるライブ中継・録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

※市議会ホームページからもご覧になれます。

#### [市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

#### [市議会のLINEは…]

LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』